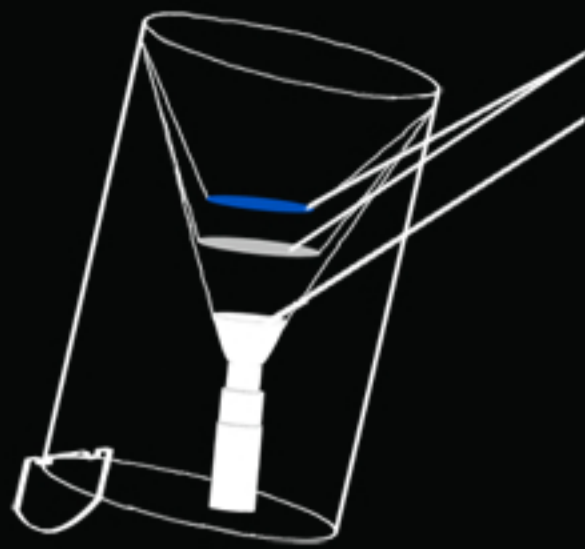


揺ヨウ 映エイ



光源であるゆらゆらが、
本体にめらめらと、
天井にはふわふわと映り、揺れます。
上の空になって見つめてみてください。
そして時に触れて、
また遊ばせてあげてください。
きっとあなたの心を癒してくれます。

— 揺らす仕掛け —



アクリルパイプに乾いたスチレンボンドLED電球を各々に吊り、底に扇形のアクリル板を付けました。光源と可塑性樹脂の重さも反動にし、より長時間揺れる設計にしました。



それぞれのテグスの長さが違うことで揺れ幅も変わるので、映る光により複雑性を増すことができました。

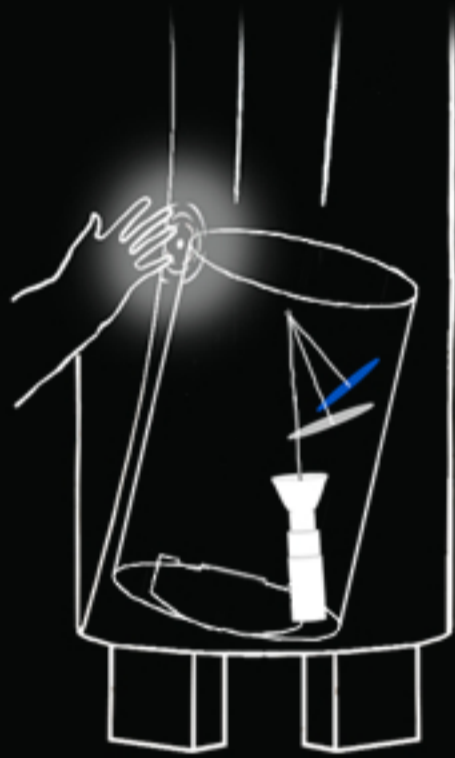
— 楽しみ方 —



照明中央と両脇に付いたこのマークをつついたり押ししたりしてみてください。そこでの楽しみ方を紹介します。

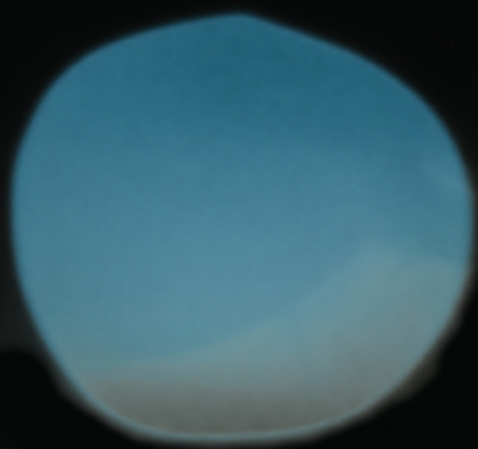
○光を揺らす

両脇のマークを押してください。中のアクリルパイプに触れることで光源と樹脂が動き出し、ワーロンや天井に揺れる光をまた映すことができます。

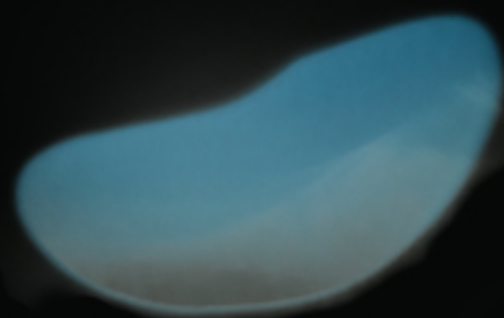


○光の形を変える

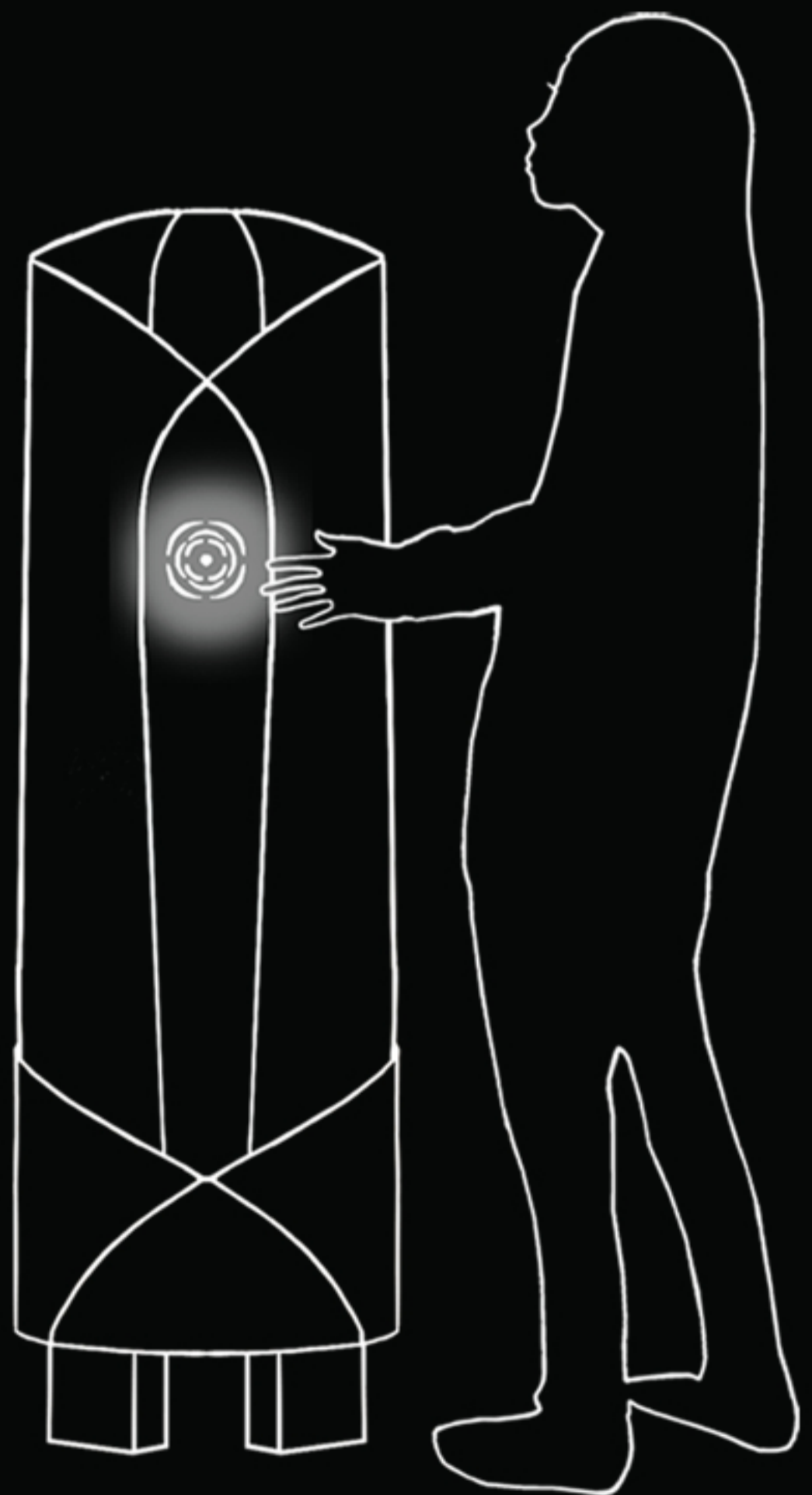
中央のマークをつついてください。天井に映った光が、自在に形を変える水溜まりのようにゆらゆらと形を変えます。



触っていない状態



触っている状態



— 材料 —

全体的な素材には光の透過性がよく、揺れが綺麗に映るワーロンシート(商品名:春雨)という強力障子紙を選びました。光の揺れ、色をよく透過し、素材自体の模様も作品の雰囲気によく馴染みます。また強く触っても復元する丈夫さと、汚れにくさが特徴です。

